

Cnipr 検索フィールド及び演算子

一、検索フィールド

Cnipr 検索プラットフォーム中国語版では、40 以上のフィールドでの検索が可能であり、フィールド詳細は以下のとおりである。

フィールド名	別名
出願番号	an
出願日	ad
公開（公告）番号	pnm
公開（公告）日	pd
特許番号	pn
特許種別	pat
名称	ti
要約	abst
特許請求の範囲	clm
独立請求項	cl
明細書	de
分類記号	sic
セクション	pic
ヨーロッパ特許分類記号	sec
セクション	pec
範疇分類	
出願人（特許権者）	pa
発明者（考案者）	inn
特許代理機構	agc
代理人	agt
住所	ar
国名コード	co
由来国	apf
国際出願	ian
国際公開	ipn
国内移行期限	den
法的状態	law
権利状況	patstatus
権利状況コード	patstatuscode
優先権	pri
優先権番号	prn
優先権日	prd
パテントファミリー	fa
参考文献	refrens

分割出願の原出願の出願番号	dan
審査官	examiner
特許証発行日	issuedate
公開年	pdy
最新の法的状態	

二、検索演算子

演算子は検索式にとって欠かせないもので、複数の検索ターゲットを所定のロジックでつなげるように機能する。Cnopr プラットフォームでは以下の検索演算子を使用できる。

(1) 比較演算子

記号	意味及び機能	用例
=	等しい	出願人=ファーウェイ
!=	等しくない	出願人!=ファーウェイ
>	より大きい	出願日>2000
<	より小さい	出願日<2000
>=	より大きいまたは等しい	出願日>=2000
<=	より小さいまたは等しい	出願日<=2000

- 比較演算子は cnopr 検索プラットフォームの全てのフィールドに適用される。
- 比較演算子の左側の値はフィールド名またはその別名でなければならない。
- 検索条件がワードではなく、検索式である場合には、当該検索式をパーレン () で括る必要がある。

(2) 論理演算子

記号	意味及び機能	用例
and	両者を同時に満たさなければならない	中国 and 米国
xor	両者のうちの一方を満たす	中国 xor 米国
not	出現するのは両者のうちの前者のみ	中国 not 米国
or	両者の少なくとも一方を満たす	中国 or 米国

- 論理演算子は 2 つの検索ワードをつなげるだけでなく、2 つ検索式をつなげて、複雑な検索式を作成することができる。

(3) 繰り返し演算子

記号	意味及び機能	用例
*=	各フィールドにおいて同じ条件を満たすエントリを検索する	c1, c2 *= (中国 and 香港)
^=	1 つのフィールドでしか条件を満たさないエントリを検索する	c1, c2 ^= (中国 and 香港)

+=	いずれか1個のフィールドで条件を同時に満たすエントリーを検索する $TI, AB, CLM+= (A \text{ and } B) \iff TI = (A \text{ and } B) \text{ or } AB = (A \text{ and } B) \text{ or } CLM = (A \text{ and } B)$	c1, c2 +=(中国 and 香港)
----	--	----------------------

- 繰り返し演算子は各入力フィールドに対して同じ条件で検索した後、各フィールドに対して所定の論理演算を行うものである。
- 繰り返し演算子の左側の値は半角コンマ, で分割された2つ以上のフィールド名またはその別名でなければならない。右側の値はワードではなく、検索式である（この検索式によって演算が行われる）場合には、当該検索式をパーレン () で括る必要がある。

(4) 属性演算子

記号	意味及び機能	用例
adj	両者が隣り合い、記載順に同時に出現する	制御 adj 装置
equ/n	両者がちょうど n のポジションの間隔で記載順に同時に出現する	制御 equ/5 装置
pre/n	両者が最大 n のポジションの間隔で記載順に同時に出現する	制御 pre/5 装置
pre/n#	両者がちょうど n のポジションの間隔で記載順に同時に出現する	制御 pre/5#装置
pre/pos=n		制御 pre/pos=5 装置
pre/nL	両者が少なくとも n のポジションの間隔で記載順に同時に出現する	制御 pre/5L 装置
pre/sen	両者が同じ文章で記載順に同時に出現する	制御 pre/sen 装置
pre/seg	両者が同じ段落で記載順に同時に出現する	制御 pre/seg 装置
and/n	両者が最大 n のポジションの間隔で同時に出現する	制御 and/5 装置
and/n#	両者がちょうど n のポジションの間隔で同時に出現する	制御 and/5#装置
and/pos=n		制御 and/pos=5 装置
and/nL	両者が少なくとも n のポジションの間隔で同時に出現する	制御 and/5L 装置
and/sen	同じ文章で両者が同時に出現する	制御 and/sen 装置
and/seg	同じ段落で両者が同時に出現する	制御 and/seg 装置
xor/n	同じ文章では n のポジションで同時に出現しない	制御 xor/2 装置
xor/n#	同じ文章ではちょうど n のポジションの間隔で同時に出現しない	制御 xor/2 装置
xor/pos=n		制御 xor/pos=2 装置
xor/nL	同じ文章では n 以外のポジションで同時に出現しない	制御 xor/2L 装置
xor/sen	同じ文章では一方しか出現しない	制御 xor/sen 装置
xor/seg	同じ段落では一方しか出現しない	制御 xor/seg 装置

- 属性演算子 equ/n、X/n、X/n#、X/nL 及び X/pos=n で、間隔とは開始位置の差分ではなく、

2つの文字/ワード間のポジションの数量をいう。

- 属性演算子 X/sen=n 及び X/seg=n で、n は 0 からカウントする。
- 属性演算子 adj は pre/0 と同等で、equ/n は pre/n# と同等である。

(5) 演算子の同等な表記

英字で演算子を書く代わりに、次の同等な表記で置き換えることができる。

通常演算子	!=	ADJ	PRE	AND	XOR	NOT	OR
同等演算子	<>	スペース	&	*	^	-	+

(6) ワイルドカード

記号	意味及び機能	用例
?	英字または漢字 1 文字	著者=張?慶
%	英字または漢字 0 文字以上	著者=張%

ワイルドカードはファジー検索に用いられ、cnipr 検索プラットフォームでは、ワイルドカード「?」、「%」を使用できる。

(7) 特殊値

TRS 検索式において、

第 1 種の記号：‘(’、‘)’、‘[’、‘]’、‘,’、‘/’、‘@’、‘=’、‘>’、‘<’、‘!’、‘&’、‘*’、‘^’、‘-’、‘+’

第 2 種の記号：‘ADJ’、‘EQU’、‘PRE’、‘AND’、‘XOR’、‘NOT’、‘OR’、‘TO’、スペース、関数名

第 3 種の記号：曖昧ワイルドカード ‘%’、‘?’

第 4 種の記号：一重引用符 ‘ ’ ’、エスケープ文字 ‘\’

上記の 4 種類の文法記号がある場合は、

検索式の値において当該記号に次のとおりに特段の処理を行わなければならない。

●値が第 1 種の文法記号を含む場合は、当該値を一重引用符で括り、又はエスケープ文字で当該文法記号の別の解釈をしなければならない。例えば、日付形式の値 ‘,,8’、\,\,8。

●値が第 2 種の文法記号である場合は、当該値を一重引用符で括り、又は、エスケープ文字で当該文法記号の別の解釈をしなければならない。例えば、‘AND’、\AND。

●値の一部が第 3 種の又は第 4 種の文法記号である場合は、エスケープ文字で当該文法記号の別の解釈をしなければならない。例えば、10\%、\\。